

登米市(仮称)地域交流センター 市民参画／共創キックオフイベント

2026年10月12日(月・祝)

登米市 市民参画／共創キックオフイベント：“わたしたちの場づくり”をはじめよう！

1. 挨拶・事業の説明:登米市 13:30 – 13:40 (10分)

2. 設計プランの説明:山下設計 13:40 – 13:55 (15分)

3. 事例紹介・オリエンテーション:arg 13:55 – 14:10 (15分)

- ・市民参画／共創について
- ・ホントカ。(新潟県小千谷市)等の事例紹介
- ・本日のキックオフイベントについて

(休憩:10分)

4. トークセッション 14:20 – 15:20 (60分)

- ・ショートプレゼン1:勝 邦義 氏
- ・ショートプレゼン2:吉田 めぐみ 氏
- ・ディスカッション

5. ミニワークショップ 15:20 – 15:55 (35分)

- ・ワークショップ概要説明
- ・自己紹介
- ・聞き書き_ライト
- ・グループ内共有

6. あいさつ・次回案内:登米市 15:55 – 16:00 (5分)

市民参画から共創へ

本日のキックオフイベントを含め、
本事業においては、ワークショップなどを通じた
「市民参画」を基本に進めていきます。

そして「市民参画」を持続的に実践していくために、
「共創」という大きなビジョンを持って、
みなさんと共に進めていきたいと思えます。

共創とは？

共創とは、立場や経験の違う人たちが、
思いや知恵を持ち寄り、話し合い、試しながら、
一人では生み出せないものを一緒につくっていくことです。

新しい施設を、市がつくって市民が使うだけではなく、
みんなでつくり、使いながら育て続ける場所にする。
それが、このプロジェクトで目指す共創のイメージです。

共創とは？

共創は、みんなが同じ意見になることではありません。

違うからこそ、

一人では見つけられない可能性をつくることができます。

3つの目標

「共に考え、共につくる」小さな積み重ねが、“わたしたちの公共”をつくり出していきます。

施設は「行政がつくって市民が使う」ものではなく、市民・行政・地元の多様な人が対等なパートナーとして関わり、対話と実践を重ねるなかで“みんなのもの「公共」”として育っていきます。このような意識が、開館後の活気と持続性を生む土台になります。



市民参画から
「共創」へ



共に学び、つくり、
参加する



試す(実験する)
の実践



小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。(新潟県小千谷市)

ホントカ。宣言

ホントカ。宣言

「ホントカ。」は、誰もが公正な立場で安心して過ごせるみんなの広場です。

「ホントカ。」は、わたしたちがつくり、わたしたちが利用し、わたしたちが運営し、わたしたちが育てていきます。

※「わたしたち」とは、小千谷市民と小千谷市に関わる人々すべてを指します。

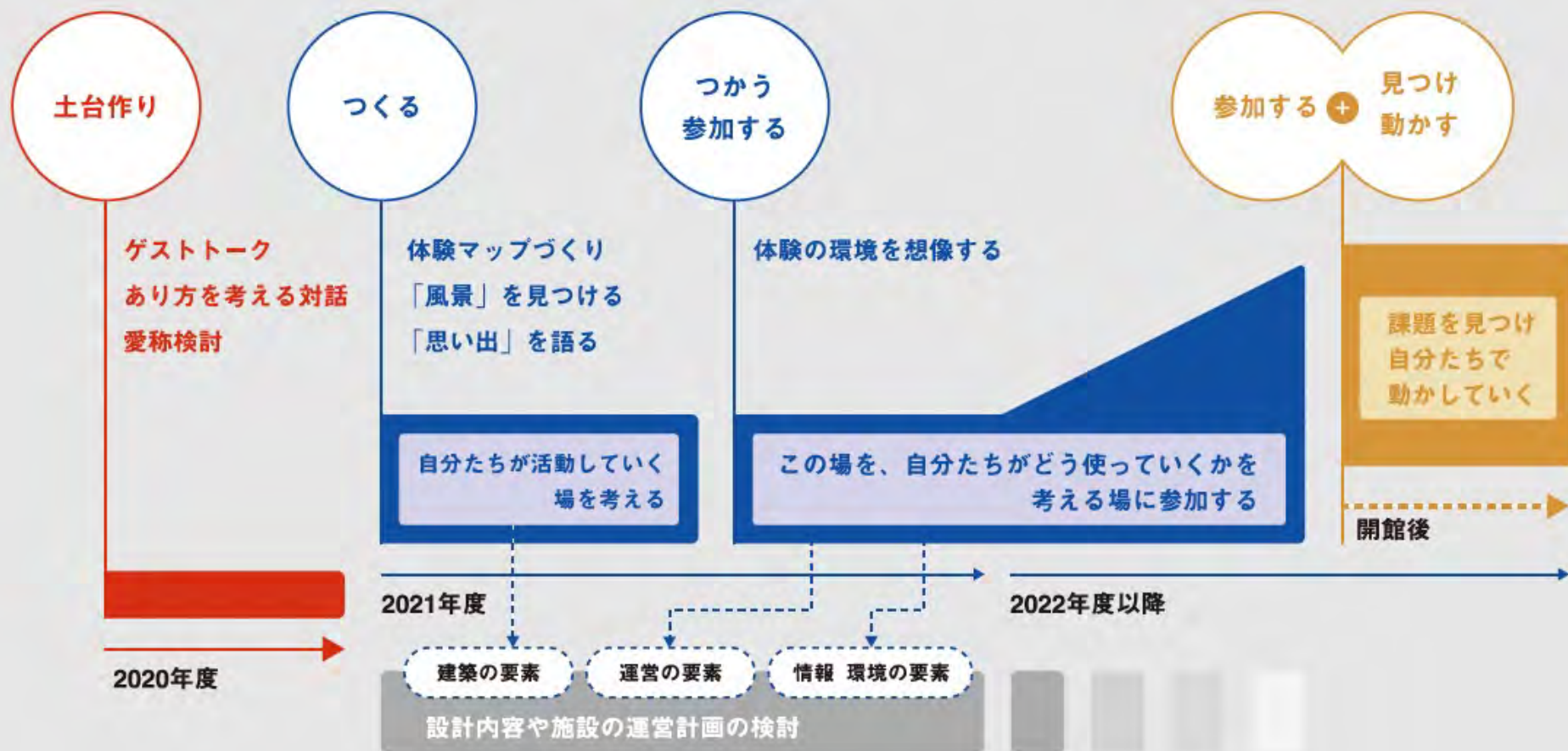
※「広場」とは、「ひらけた共有の場(物理的な空間だけでなくバーチャルな空間を含む)」という意味で使います。

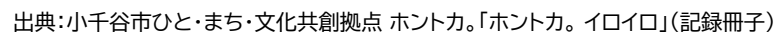
- 1 わたしたちは、多様な人々それぞれにとっての居場所となるみんなの広場を育てていくために、3つの自由(考え方の自由、過ごし方の自由、使い方の自由)を守ります。
- 2 3つの自由を守るために必要なルールは、わたしたち自身で対話を通してつくっていきます。
- 3 わたしたちは、個人や、組織や、地域の壁を超えてつながり、お互いに支え合うやわらかな関係をつくっていきます。
- 4 わたしたちは、多様な〈知〉を収集・編集し、公共のものとして共有することで、地域社会を豊かにするための運営を目指します。
- 5 わたしたちは、「ホントカ。」での体験や活動を通じて、まちづくりへの参画の力を互いに育んでいきます。

出典: ホントカ。 | ホントカ。宣言
<https://hontoka.city.ojiya.niigata.jp/statement> (最終閲覧日: 2026年10月6日)

小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。(新潟県小千谷市)

小千谷リビングラボ「at!おぢや」の展開





日向市図書館複合施設(宮崎県日向市)



みんなで創る新しい図書館複合施設

日向ラボ・ラボ通信

学びの種をまき 創造の芽を育て 希望の実を結ぶ 市民のサードプレイス VOL.03

2025 9

第3回「日向ラボ・ラボ」を開催。今回の主役は中・高・大学生！

令和7年9月27日（土）に、新しい図書館複合施設の整備に向けた第3回日向ラボ・ラボを日向市役所1階市民ホールで開催しました。イベントでは、市民の皆さんから要望の多い「ものづくりを実際に体験できるワークショップ」を開催しました。

体験ワーク ショップ

創造の芽を育てよう。新しい学びの発見。

テーマ「新しい図書館のカフェづくり」



市内の高校生を中心に集まった参加者が5班に分かれ、「新しい図書館のカフェづくり」をテーマにカフェの名前を考えました。

新しいカフェの名前は、「**ひょっとcoffee**」。

その後、プロの講師のサポートを受けながら、カフェで使用するブランドロゴやエプロン、ヘブスを使ったジュースの製作、カフェ空間のデザインや動画編集などを体験しました。



市内在住の高校生を中心に集まった参加者が5班に分かれ、「新しい図書館のカフェづくり」をテーマにカフェの名前を考えました。

新しいカフェの名前は、「**ひょっとcoffee**」。

その後、プロの講師のサポートを受けながら、カフェで使用するブランドロゴやエプロン、ヘブスを使ったジュースの製作、カフェ空間のデザインや動画編集などを体験しました。

A ブランドづくり

カフェのブランドづくりを体験！デジタル機材でグッズ制作！



「ひょっとcoffee」のグッズ製作

3Dプリンターやカッティングマシン、レーザー加工機を使って色んなグッズを制作しました。

参加者の声

- 色んな人と話せたり、自分でもできることがあると分かった。
- 色んなことができて良かった。
- 工作が好きなので、すごく楽しく貴重な体験になりました。

B メニュー開発

日向らしい「ヘブス」を使った、カフェメニューを開発！



新メニュー「ヘブスオレシモン」へブス、オレンジジュース、シナモンをミックス。名前には「他のもの」にかけています。

参加者の声

- 自分の意見を言うのが苦手だったけど、こう言ったら伝わるかなとか考えながら克服していけるようになってよかった。
- 人生で体験できないようなことを経験できて、自分の知らないことも話せることができて、とても楽しかった。

C 空間デザイン

理想のカフェ空間をデザイン、CGパースで表現！



手書きのパーズ図をCGで表現

パース、3Dの書き方を学びながら手書きで作成、手書きの図面をCGで表現しました。

参加者の声

- 苦手な場所のある作業だったけど、美しく学んで取り組めました。
- 初めての経験でしたが、わかりやすく教えてもらって上手くできました。
- とても、楽しかったです！

D PR・発信

動画・映像制作を通して、理想のカフェを発信！



今日の様子を動画で発信

各班の作業内容を機材を使って撮影、撮った動画を1分にまとめました。

参加者の声

- 自分の興味があるものを隅から隅まで教えていただきました。
- 1つの動画を作成するのに、こんなに気力や忍耐力がいるんだなという実感と、映すアングルやカットなど、考えることが多く、新しい気づきをたくさん得ることができました！

E 衣装づくり

みんなが思わずつけたくなるエプロンをデザイン・制作！



一枚の布からエプロンづくり

アイディアを出し合い、オリジナルエプロンを作りました。

参加者の声

- 新しいこともすべてとても楽しかったです。先輩方と協力して作業ができ、とても満足な時間でした。
- エプロンを一から作るのには大変だったけど、みんなと協力して可愛いエプロンを作ることが出来てよかった。
- 今まで体験できなかったことをたくさん出来て、とても楽しかったです。

期待すること

- カフェや軽食が楽しめる
- 友達と集まって話せる場所
- 居心地の良い場所
- 勉強できるスペース

体験したいこと

- 料理・お菓子づくり
- 3Dプリンターなどのモノづくり
- 動画・アニメーション制作
- 楽器・音楽制作

第4回 日向ラボ・ラボのお知らせ

✓ 日 時 11月29日（土） 13時30分～16時00分

✓ 場 所 日向市役所1階 市民ホール

✓ 内 容

第1部 青山鉄兵さんの講演会（約1時間）

※ 対象：どなたでも参加できます。

第2部 ワークショップ「若者が行きたくなる図書館」

※ 対象：中学生以上～29歳まで **要申込**

日向市役所 総合政策課

人と自然が暮か合い、にぎわいあふれる 共創のまち日向

〒883-8555 日向市本町10番5号

0982-66-1001

sougou@hyugacity.jp



小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。(新潟県小千谷市)



出典: YouTube | 小千谷市公式チャンネル | 小千谷市ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。開館記録映像「ホントカ。イロイロ」(ショート版)
<https://www.youtube.com/watch?v=NxZT0h110pI> (最終閲覧日: 2026年10月6日)

テーマ

“わたしたちの場づくり”をはじめよう！

～登米市 市民参画／共創キックオフイベント～

概要



日程・場所

日程:

2026年10月12日(月・祝)

13:30～16:00

会場: 迫公民館



対象・参加

対象: 登米市にかかわるすべての人

定員: 40名程度(申込制)



目的・目標

- ・「共につくる」意識を醸成します
- ・ 先行事例から共創の姿を想像します

構成

ワークショップに先立ち、まず「このプロジェクトは何を目指すのか」を市民のみなさんと共有します。市民参画／共創のキックオフとして、事業と設計の説明、先行事例の映像、トークセッション、そして小さな対話の体験までを実施します。



1

挨拶・事業の説明 (10分)

地域交流センター・新図書館プロジェクトの目的と全体像、これまでの経緯を市民のみなさんに共有します。



2

設計プランの説明 (15分)

現時点の建築プラン・設計の考え方を、図やイメージを用いてわかりやすく紹介します。



3

事例紹介・オリエン (15分)

小千谷市「ホントカ。」開館記録映像「ホントカ。イロイロ」を鑑賞した上で、具体的な実践を紹介し、共創のイメージを共有します。



4

トークセッション (60分)

2名のゲストを迎え、これからの公共施設・共創のあり方を多様な視点から語り合います。(ゲストによるショートプレゼン+ディスカッション)



5

ミニワークショップ (35分)

グループに分かれてアイスブレイクを行います。その後、本日の感想と「新しい施設でこんなふうにいれたら」について、ペアで“聞き書き”をし、グループで共有します。

休憩10分

登米市 市民参画／共創キックオフイベント：“わたしたちの場づくり”をはじめよう！

1. 挨拶・事業の説明:登米市 13:30 – 13:40 (10分)

2. 設計プランの説明:山下設計 13:40 – 13:55 (15分)

3. 事例紹介・オリエンテーション:arg 13:55 – 14:10 (15分)

- ・市民参画／共創について
- ・ホントカ。(新潟県小千谷市)等の事例紹介
- ・本日のキックオフイベントについて

(休憩:10分)

4. トークセッション 14:20 – 15:20 (60分)

- ・ショートプレゼン1:勝 邦義 氏
- ・ショートプレゼン2:吉田 めぐみ 氏
- ・ディスカッション

5. ミニワークショップ 15:20 – 15:55 (35分)

- ・ワークショップ概要説明
- ・自己紹介
- ・聞き書き_ライト
- ・グループ内共有

6. あいさつ・次回案内:登米市 15:55 – 16:00 (5分)

ゲストの紹介

勝 邦義 氏

東北工業大学ライフデザイン学部生活デザイン学科 准教授

テーマ: まちづくりによる地域社会の課題発見・課題解決

石巻拠点で東北の現場に通じ、登米市にも関わりを持っています。「三塚牧場シルクロ」)建築や空間の設計だけでなく、その場が持続的に機能する“仕組み”までを構想・実装する姿勢は、開館後の運営まで見据える本事業と重なります。



出典: KATSU STUDIO | Circulo シルクロ

<https://katsustudio.jp/2023/06/06/circulo/> (最終閲覧日: 2026年10月6日)

吉田 めぐみ 氏

紫波町図書館 主任司書

テーマ: 地域に、人に寄り添う図書館

同じ東北・岩手で、複合施設における図書館として、人と情報、人と人をつなぐ実践を続けています。まちの人の「生きた声」から生まれた数々の取り組みは、登米市の施設づくり・運営を考えるうえで具体的な手がかりになります。



出典: 紫波町図書館

<https://lib.town.shiwa.iwate.jp/> (最終閲覧日: 2026年10月6日)

「自己紹介」

グループ内で自己紹介しよう！

本日のワーク内で呼ばれたい
名前(ニックネーム)と、
とっておきの登米市の情報を教えてください



「聞き書き_ライト」

ペアになって、お互いの話を聞き合い、その言葉を記録(メモ)し合おう！

テーマ1

本日の事例紹介、トークセッションの
感想を話そう
(想定時間1人3分)



テーマ2

地域交流センターがどんな場所になると
いいのか、自分の思いを話そう
(想定時間1人5分)

「グループ内共有」

作成したワークシートをもとにグループ内で共有しよう！

聞き書きワークシート

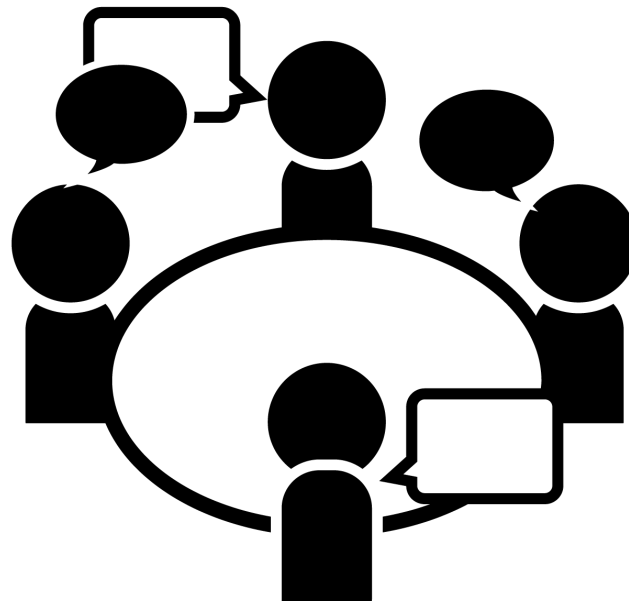
👤 ニックネーム
どんなひと？(性別、性格、まちへの関わり(在住年数)など)

本日の事例紹介、トークセッションの感想は？

地域交流センターがどんな場所になるといいでしょう？

👉

聞き書きした人



(仮称)地域交流センター整備に向けた 市民参画ワークショップ

第1回 "共創"を知る・はじめる

登米市では、図書館・公民館・市役所等の機能を備えた施設である、(仮称)地域交流センターの整備を進めています。市民の皆さんに親しまれる施設となるために、建設前から市民と共に施設のあり方や使い方について考えて、共に施設を創りあげるため、ワークショップを開催します。今回のワークショップでは、「共創を知る・はじめる」をテーマにして、「施設でどう過ごせたらいいか?」「どんなことが出来たらいいか?」という可能性を参加者全員で考えます。

本日終了後も申込を受付ます。
ぜひ、ご参加ください!

定員
25名
(参加無料)

テラスや
コネクションモールで
創作や発表をできない
かな?

自由に使える
スペースがあったら
何がしたい?

多目的ホールの使い方は?
公園と建物を一緒に使えないかな?

図書館で本を
読む以外で何か
できることは
ないかな?

日時 **10月31日(土)13:30~16:00**

会場 **登米市役所迫庁舎2階 大会議室**

[対象] 登米市に在住またはゆかりのある方(在勤・在学、地域活動など)

[申し込み] 申込フォーム、メールまたは電話からお申込みください。

[申込期限] 10月28日(水曜日)

※メールで申し込む場合は、件名を「第1回ワークショップ申し込み」とし、
本文に「●氏名、●お住まいの地域等(在勤・在学等の場合はその旨)、
●連絡先」を記載してください。

申込用
QRコード



[問合せ先] 登米市 総務部政策推進室
TEL 0220-23-7353
Mail seisakusuishin@city.tome.miyagi.jp

登米市公式ホームページの
事業に関するページは
こちらからアクセスください

